

大山 朋子
名城大学農学部応用生物化学科

7月17日、18日の2日間、愛知工業大学で行われた第6回フローインジェクション分析技術講習会を受講しました。私は現在卒業研究でFIA分析システムを利用し、実験を行っております。しかしまだ使い始めて2ヶ月しか経たず、わからないことも多く、もっと深くFIAについて知りたいと思い、勉強のために参加させていただきました。

1日目前半の講義では、6人の先生方からFIAの原理や基礎、その応用技術について丁寧に教えていただき、バッチ式マニュアル法では、何度も操作しなければならない上に、廃液もたくさん出てしまうものがフローインジェクション分析法では、オンラインで分析ができ、廃液も少量であるなど実験環境にもよく、FIAのメリットを改めて知ることができました。また、私が考えていた以上にFIAはいろいろな分析を行うことができ、多方面への利用が可能で大変驚き、多くの発見ができました。

基礎実習では、FIAに触れ、実際にFIAの装置を組み立て、使わせていただきました。装置を動かしてみて、再現性がよく、分析時間が短いことが印象的でした。さらに、反応コイルの長さや、インジェクションの量など、目的にあったように自分で工夫できるところに、おもしろさと難しさを感じました。2日目の応用実習では、講義を受けた内容などを実際に見て体験し、講師の先生方に直接質問することができ、さらに関心がわき、大変良い

経験となりました。今回技術講習会に参加させていただいて、FIAについての理解が今まで以上に深まりました。この技術講習会で学んだ知識をこれからの実験で活かし、身につけていきたいと思えます。2日間、有意義でとても楽しく過ごすことができました。どうもありがとうございました。

